



Team石川



小中一貫CSだより第58号 令和3年1月28日 文責：千葉 敦
めざす子ども像(15歳の姿)：時と場に応じた挨拶・返事・言葉遣いができ、思いやりの心を持つ生徒

小中合同校内研修会開催

冬休み中の1月8日(金)、小学校の会議室で小・中学校の先生方が、合同で研修会を開催しました。例年長期休業中に、小中共通の課題について合同で職員の研修会を開いています。今回は、弘前市教育センター所長補佐の小笠原恭史先生を講師に迎え、「小・中学校9年間にある子どもの変化」というテーマで講演をしていただきました。



子どもの発達段階にあわせた、大人の関わり方、先生としての関わり方、学級集団と個の関わり方や集団の育て方などを、熱く語っていただきました。弘前市が目指す、個が生きるための「学びを支える集団づくり」について、小中の先生方が気持ちを新たにすることができた、有意義な研修会でした。



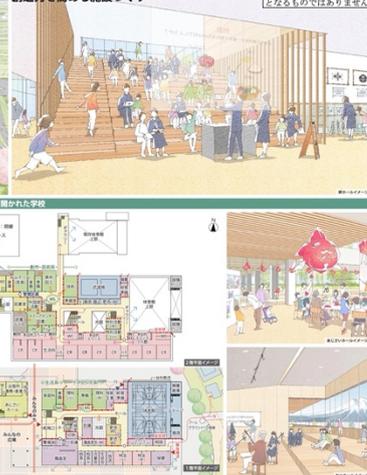
新校舎の設計業務者が決定

石川小・中学校等複合型施設整備事業について、弘前市では設計業務者をプロポーザル方式で公募していました。この度決定したので、その提案平面図を掲載します。なお、今回提示された提案やデザインが、そのまま設計案となるものではありません。設計内容の詳細については、小・中学校教職員や地域関係者の意見なども踏まえながら検討していくそうです。ここに示した図は小さくて見にくいと思います。市のホームページに、寸法図なども掲載されていますので、ぜひそちらもあわせてご覧ください。

石川地区の絆を深め、学校と地域が共に歩みつながる「みんなが生き生きと活動する新たな学校」づくり



9年間の学びを支え、学習意欲、創造力を高める施設づくり



この企画提案書の図案やデザインは、そのまま設計案となるものではありません

掲載URL http://www.city.hirosaki.aomori.jp/oshirase/jouhou/ishikawa_kihon_puroppo.html
弘前市トップ>市からのお知らせ>お知らせ(市政情報)>弘前市立石川小・中学校等複合型施設整備事業基本設計業務公募型プロポーザルの実施について

ことばをかけて見守る運動実施

石川小・中学校とも、1月15日(金)から3学期が始まりました。冬休み中には大きな事故やケガ・病気もなく、ほとんどの児童生徒が元気に登校しました。また、1月18日(月)～20日(水)の3日間、「あいさつ運動、ことばをかけて見守る運動」も実施されました。とても厳しい寒さの中、保護者や学校運営協議会の委員の方々から登校する児童生徒に暖かい声かけをしていただきました。例年のことですが、地域のみなさまの力強いご協力に、深く感謝申し上げます。



通学路安全点検・除雪作業実施

1月11日(月)に、小学校PTAが通学路点検と除雪作業を行いました。石川・乳井地区と薬師堂地区は学校までの、また大沢地区は大沢駅までの通学路を、それぞれ雪による危険な箇所がないか点検していただきました。各地区とも地域の方々のご協力により、特に危険な所は無く、通学路は確保されていました。学校周辺では、校門から国道7号線までの歩道が狭くなっている、御幸橋から歩道橋までの歩道が雪に覆われていたので、学校の除雪機でそれぞれの歩道を除雪作業しました。お陰様で、子どもたちが安全に通学することができるようになりました。ご協力いただいたPTA会員と地域の方々に、お礼申し上げます。



乗り入れ授業

石川小・中学校では、小学校6年生がスムーズに中学校生活になじめることを目的として、中学校の先生方が小学校6年生に授業をする「乗り入れ授業」を、毎年実施しています。今年は下記の日程で行う予定です。実施状況については、次回のCSだよりで報告いたします。

音楽：1月28日(木)、2月12日(金) 理科：2月9日(木)、2月18日(木)
英語：2月15日(月)、2月16日(火)